

問1 1549年にフランシスコ・ザビエルが鹿児島に上陸して日本に伝えたキリスト教について、その宗派と布教を担った組織の組み合わせとして正しいものはどれですか。 (2017年 徳島県公立入試 類似)

- | | | | |
|-----------------|-------------------|---------------|--------------------------|
| 1. カトリックー イエズス会 | 2. プロテスタントー イエズス会 | 3. カトリックー 十字軍 | 4. プロテスタントー 清教徒 (ピューリタン) |
|-----------------|-------------------|---------------|--------------------------|

問2 戦国大名が「分国法」を制定した目的や、その社会的な背景を説明した文として最も適切なものはどれですか。 (2016年 福岡県公立入試 類似)

- | | | | |
|--|---|---|---|
| 1. 幕府の法に基づく全国統一的な裁判基準を確立し、朝廷の権威を回復させるため。 | 2. 裁判の迅速化を図るため、過去の判例を整理して評定衆の裁決の基準を明確にするため。 | 3. 下剋上の世において、家臣同士の私的な争いを禁じ、領国内の秩序を安定させて支配力を強めるため。 | 4. 徳川将軍家への忠誠を誓わせ、大名による勝手な婚姻や城の補修を制限して謀反を防ぐため。 |
|--|---|---|---|

問3 戦国時代の日本において、全国統一の動きを加速させる要因となった鉄砲について、その伝来の経緯を説明したものとして正しいものはどれか。 (2016年 群馬県公立入試 類似)

- | | | | |
|------------------------------------|---------------------------------------|---|---|
| 1. 種子島に漂着したポルトガル人によって、1543年に伝えられた。 | 2. 日明貿易の進展に伴い、日本の商人が中国から直接買い付けて持ち帰った。 | 3. 元寇の際に、元軍が使用していた「てつほう」を日本側が改良して国産化した。 | 4. キリスト教の布教を目的としたスペイン人の宣教師によって、平戸で初めて紹介された。 |
|------------------------------------|---------------------------------------|---|---|

問4 南蛮貿易によってもたらされた鉄砲と、当時の都市の関わりについて述べた文として、背景や理由を含めて正しく説明しているものはどれですか。 (2020年 群馬県公立入試 類似)

- | | | | |
|--|--|---|--|
| 1. 江戸幕府の成立まで鉄砲の国内生産は禁止されていたため、長崎の出島を通じてのみ取引が行われた | 2. 堺などの有力な商人が自治を行う都市では、高度な鍛冶技術を活かして鉄砲が生産され、各地の大名に供給された | 3. 鉄砲の製造に必要な火薬の原料が国内で豊富に採れたため、城下町ごとに小規模な自給自足の生産体制が整った | 4. 寺院が鉄砲の製造を独占したため、鉄砲の生産拠点となった都市では宗教勢力による支配が強まった |
|--|--|---|--|

問5 応仁の乱ののち、実力で領地を広げた戦国大名が、自らの領国内を統治し、家臣や民衆を支配するために独自に制定した法律を何といいますか。 (2023年 静岡県公立入試 類似)

- | | | | |
|--------|----------|----------|---------|
| 1. 分国法 | 2. 御成敗式目 | 3. 武家諸法度 | 4. 建武式目 |
|--------|----------|----------|---------|

問6 戦国時代において、各地の戦国大名が自らの領国内を統治し、家臣や民衆を統制するために独自に制定した法律を何というか。 (2021年 沖縄県公立入試 類似)

- | | | | |
|----------|----------|-----------|--------|
| 1. 御成敗式目 | 2. 武家諸法度 | 3. 公事方御定書 | 4. 分国法 |
|----------|----------|-----------|--------|

問7 16世紀半ば、種子島に漂着した西欧人との交流によって日本にもたらされた武器について、その名称と伝えた人々の組み合わせとして正しいものはどれですか。 (2024年 鹿児島県公立入試 類似)

- | | | | |
|------------------|---------------------|--------------------|-------------------|
| 1. 大砲をスペイン人が伝えた。 | 2. 弓矢を中国（明）の商人が伝えた。 | 3. 火縄銃をポルトガル人が伝えた。 | 4. 日本刀をオランダ人が伝えた。 |
|------------------|---------------------|--------------------|-------------------|

問8 16世紀に起きた「ルターによる宗教改革の開始」「イエズス会の設立」「フランシスコ・ザビエルによる日本へのキリスト教伝来」という3つの出来事について、時期の早いものから順に正しく並べたものはどれですか。 (2020年 長野県公立入試 類似)

- | | | | |
|---|---|---|---|
| 1. フランシスコ・ザビエルによる日本へのキリスト教伝来 → ルターによる宗教改革の開始 → イエズス会の設立 | 2. ルターによる宗教改革の開始 → イエズス会の設立 → フランシスコ・ザビエルによる日本へのキリスト教伝来 | 3. イエズス会の設立 → フランシスコ・ザビエルによる日本へのキリスト教伝来 → ルターによる宗教改革の開始 | 4. ルターによる宗教改革の開始 → フランシスコ・ザビエルによる日本へのキリスト教伝来 → イエズス会の設立 |
|---|---|---|---|

問9 ヨーロッパからアジアへ向かう海上航路において、アフリカ大陸の南端に位置し、中継地点として重要な役割を果たした場所の名称として正しいものはどれですか。 (2020年 新潟県公立入試 類似)

- | | | | |
|--------|----------|-----------|----------|
| 1. 喜望峯 | 2. パナマ運河 | 3. マゼラン海峡 | 4. スエズ運河 |
|--------|----------|-----------|----------|

問10 戦国大名は、自らの居城の周辺に家臣や商工業者を強制的に呼び寄せて住まわせ、領国支配の拠点となる町を築きました。このような町の形態を何と呼びますか。 (2016年 千葉県公立入試 類似)

- | | | | |
|-------|--------|--------|--------|
| 1. 港町 | 2. 門前町 | 3. 宿場町 | 4. 城下町 |
|-------|--------|--------|--------|

問11 16世紀のヨーロッパで起こった宗教改革の背景やその内容を説明した文として、最も適切なものはどれですか。 (2023年 栃木県公立入試 類似)

- | | | | |
|--|-----------------------------------|---|---|
| 1. 蒸気機関の発明によって生産効率が向上し、資本主義経済が急速に発展した。 | 2. モンゴル帝国が勢力を拡大し、中国を支配して国号を元と定めた。 | 3. カトリック教会が資金集めのために販売した免罪符に対し、ルターが抗議の声を上げた。 | 4. 北アメリカの植民地がイギリスからの独立を宣言し、近代的な民主主義国家を樹立した。 |
|--|-----------------------------------|---|---|

問12 室町時代後期から戦国時代にかけて、各地の実力者が幕府の法に頼らず、自らの領国内を統治するために独自に制定した法律を何といいますか。 (2024年 岡山県公立入試 類似)

- | | | | |
|----------|----------|--------|-----------|
| 1. 武家諸法度 | 2. 御成敗式目 | 3. 分国法 | 4. 公事方御定書 |
|----------|----------|--------|-----------|

問13 越前国（現在の福井県）を支配した朝倉氏の法には、本拠地である朝倉館のほかに国内に城を構えることを禁じ、有力な家臣を一乗谷に移住させるよう命じた規定があります。戦国大名がこのように定めに代表される「分国法」を制定した主な目的として、最も適切な説明はどれですか。 (2021年 三重県公立入試 類似)

- | | | | |
|--|--|--|--|
| 1. 幕府が定めた武家諸法度を遵守させ、将軍への忠誠心を高めるための準備を行うため。 | 2. 家臣を城下町に集めて監視・統制を強め、反乱を防ぐとともに領国支配を安定させるため。 | 3. 村々に代官を置くことで、農民から直接税を徴収する太閤検地の予備調査を行うため。 | 4. 一乗谷を商業の中心地とし、家臣に農業ではなく外国との貿易に専念させるため。 |
|--|--|--|--|